

<p>的 な も の の 考 え 方 (6 時 間)</p>	<p>日常生活に生かす ことが大切である ことに気付かせる。</p> <p>。 デカルトやヘー ゲルの思索のすす め方を手がかりに しながら、自ら哲 学することの大切 さを認識させる。</p>	<p>(3) ソクラテスの問答法</p> <p>4 哲学的な真理の探究方 法 (1) デカルトの方法的懐 疑 (2) ヘーゲルの弁証法</p>	<p>。 『方法序説』 (『世界の名著』 デカルト, 中央公 論社 P 189 ~ 190) 。 『ヘーゲル』 (沢田章著 清水 書院 P 211 ~ 212)</p>	<p>カルトやヘーゲルも取り 扱うようにする。</p> <p>。 高校一年生であること をふまえ、具体的事例を 用いて、理解しやすいよ うに工夫する。</p>	<p>。 ギリシアの思想では、 人間の本性を理性のはた らきとして自覚し、思索 を深めて真理を探究する 合理的精神が基本となっ ていることを理解させる。 イ 現代に生きる思想 。 人間の尊重, 合理的な 精神, 民主主義の倫理など についての思想の歴史的 形成とそれらの思想が現 代に生きる意義について 指導する。</p>
		<p>5 科学する心 (1) 科学的に考えること の意味 (2) 科学的思考の核心 (3) 法則の発見</p> <p>6 科学的な真理の探究方 法 (1) ベーコンの帰納法 (2) デカルトの演えき法</p>	<p>。 『科学的思考と は何か』(庄司和 晃著 明治図書 P 27) 。 『世界の名著』 ベーコン(中央公 論社 P 389) 。 『世界の名著』 デカルト(中央公</p>	<p>。 生徒の自由な発言をま とめながら、資料を用い て科学的思考の特徴を把 握させる。 。 生徒の身近でわかりや すい事例(ことわざ, 理 科の実験, 幾何の証明な ど)を用いて指導する。</p>	